

旭川市子ども・子育て審議会
平成28年度第3回就学前教育及び保育についての
各種基準の見直しに関する専門部会議事録

- 1 日 時 平成28年5月12日(木) 18:30~19:20
- 2 場 所 旭川市役所第二庁舎3階 健康相談室
- 3 出席委員 佐々木委員, 佐藤委員, 武田委員, 藤原委員, 宮崎委員(五十音順)
- 4 事務局 子育て支援部こども育成課 堀内課長, 飯森主幹,
こども育成係 田上係長, 斎藤
保育給付係 上田係長
こども育成係 工藤係長
- 5 傍聴者 1名
- 6 議事概要

【議事】

(1) 調査審議

ア 国における幼児教育の無償化に係る取組への対応等についての答申案

※ 事務局より答申案の説明があり

(委員) ひとり親世帯の認定について実態に即した対応をお願いしたい。離婚が成立するまでの期間が長い場合もあり, その間の生活実態はひとり親世帯の状態となるため, 運用していく中で適切に行っていただきたい。

※ 事務局案どおりで了承を得た。

イ 国における保育士配置基準に係る弾力化への対応等についての答申案

※ 事務局より答申案の説明があり

(委員) 資格を持たない者の保育の質に対する懸念というのはあると思うが, 保育士の確保が困難になっている状況から, 保育の質の低下というところに注視してしまうと方向を見誤ってしまうのではと思う。この改正は, 保育士が専門性をより発揮できる環境作りになると思うし, 保育士の働き方を顧みるターニングポイントになると思う。ただし, 子育て支援員研修や保育士の質の向上を図れる研修の充実が前提であり, 関係機関と歩調を合わせながらより良い方向に進んでいただければと思う。

(委員) 朝夕の時間帯に保育士以外の方が入ることで, チェックリストをつくらなければいけないなど, 保育士の雑務が増えてしまうのではとの懸念があるため, 事務の簡略化・効率化を考え保育士への負担にならないように, 今後考えていただきたい。

(委員) 部会で議論する中で、旭川市は子育てをする上での環境、安心して子どもを預けられる環境がとても整えられていると感じている。しかし、子どもの立場で考えると、本当は家族と過ごしたいのではと考えてしまう。親子が一緒に過ごす時間が増やせるような、子育てのサポートがあってもいいのではと思う。

子育て中の親子は色々な葛藤があり、それを一緒に乗り越えていくといった親子の絆が大事だと思うので、そのような環境作りも今後行われていければと思う。

(委員) 子育てを終えた方が、子育て支援員研修を受講し、現場で保育士とともに仕事をしていただければ、保護者も安心して預けられると思う。

(委員) 実際に、現場の保育士の話を聞くと、周辺業務などで子どもに関わる時間が少なくなってしまうといった話を聞く。今回の基準の改正によって、各施設で保育士の働き方を見直すことで、保育士の専門性を活かすことができる環境づくりができ、利用している児童にとってもより良い保育環境になると考える。これらのためには、研修において、保育の質を確保することが非常に重要であり、研修内容については、地域資源を活用するなど、地域の実情にあった研修内容、カリキュラムをしっかりと組み立てていくことが求められると思う。この点においては、部会のメンバー全員が引き続き協力できると考えているので、必要に応じて相談いただけたらと思う。

(委員) 保育サービスの内容が充実していく中で、従前の制度のままでは幼稚園や各保育施設で担いきれない課題が顕在化しており、その課題を解決するためにそれぞれの施設が様々な工夫をし、時代のニーズに合わせようとしているが、そういった中で、最後のセーフティネットである保育所で虐待や子どもの貧困などの対応が抜け落ちてしまう心配が出てきている。今後も様々な課題を解決するために今回の弾力化のような見直しを図らなければいけないが出てくると思うので、その時には今回のように前向きな議論をして欲しい。

※ 事務局案どおりで了承を得た。

修正点等がなかったため、答申案については部会長で最終確認を行い、事務局から各委員に配付することで調査審議は終了した。